

## 令和2年 9月 定例会(第3回) 会議録(抜粋)

◆正田富美恵議員 皆様こんにちは。公明党を代表し、質問をさせていただきます。

質問に先立ちまして、一言申し上げます。

このたびの新型コロナウイルスによる感染症でお亡くなりになりました方々にお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様にお見舞いを申し上げます。そして、一刻も早い収束を御祈念申し上げます。また、関係者の皆様におかれましては、心から感謝をいたしております。

まだまだ本市におきましても、感染者が増えております。どうか万全なる取組をお願いいたします。

それでは、通告に従い、順次質問をさせていただきます。

最初に、新年度予算についてお伺いいたします。

国は7月の経済財政諮問会議で、国と地方の基礎的財政収支は新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化や財政支出により、政府が目標に掲げる2025年度の黒字化は極めて難しい情勢になるとの試算を示しました。

また、今年度補正予算で財政支出が計120兆円を超える規模に膨らんだことに加え、企業業績の悪化で税収が減るため、黒字化となる予定の2025年度には1.1%、約7兆円の赤字になるとも発表をされました。

本市においても来年度自主財源となる市税は、新型コロナウイルスの影響により徴収猶予の特例制度や企業の業績悪化もあり、収入は大幅な減収となることが予想されております。

このような状況下、本市において間もなく新年度の予算編成が開始されますが、これまでとは異なり、昨年起きた台風の災害の防災対策や、新型コロナウイルスの感染症対策など、従来以上の対応が求められている編成だと思えます。

それでは、令和3年度の予算編成に当たって、基本的な考え方についてお聞かせください。

◎出竹孝之財務部長 令和3年度予算につきましては、5月に任期満了となります市長選挙が予定されておりますことから、人件費、扶助費、公債費の義務的経費や、施設の維持管理などの経常的経費、継続的に実施しております事業のほか、当初予算に計上しないと事業実施に支障のある経費を中心に計上する骨格予算での編成も含めて、現在検討しているところでございます。

昨年発生しました一連の台風の大雨は、市内においても大きな被害を及ぼしましたが、今後につきましても大規模災害の発生が想定されますとともに、現在、八千代市内において新型コロナウイルス感染者が増加している状況でございます。

このことから市民の安全・安心に係る施策につきましては、最優先課題として令和3年度当初予算においても切れ目なく対応を図ってまいりたいと考えております。

◆正田富美恵議員 骨格予算というものは明確な定義がありませんので、必要な事業はしっかりと当初予算に盛り込んでいただくことを要望いたします。

それでは、今後推進が必要になる行政のオンライン化、デジタル化、市民の安全を守る防災対策、そして、また先ほども言いましたが、感染拡大に向けた大きな備え、新しい生活様式に向けた諸課題にどのように予算を確保していくのか、見解をお聞かせください。

◎出竹孝之財務部長 新しい生活様式への対応につきましては、新型コロナウイルス感染症への基本的な感染予防対策を継続してまいりますとともに、災害発生時における避難所の感染予防

対策や行政手続のオンライン化、電子処理化の推進など、感染拡大防止の取組について検討を行い、市民の安全・安心の確保に向けた予算編成に努めてまいります。

◆**正田富美恵議員** それでは次に、総合計画について質問いたします。

令和3年度から始まる新しいまちづくりの指針である第5次総合計画の策定に向けて、このたび八千代市第5次基本構想の素案を取りまとめ、現在、素案に対する意見募集、パブリックコメントを実施しております。

午前中も嵐議員から質問がありました。答弁もございましたが、改めてこの総合計画の策定において、どのような分野に重点を置くのか、市長のお考えをお尋ねいたします。

◎**服部友則市長** 令和3年度から令和10年度までの八千代市第5次総合計画の計画期間中に人口減少が見込まれること、さらに、これまでの人口の増加を前提とした行政運営と大きく異なってくるため、人口減少、少子・高齢化への対応が重要になってくると考えております。

このことから、私が掲げている「緑豊かな環境で、安心して子育てができる八千代市に」を踏まえて、八千代市第5次基本構想における施策の大綱に、子ども・子育ての施策を第一に位置づけをし、推進してまいりたいと考えております。

加えて、現在、先導的な役割を担う事業を重点的かつ戦略的に進めていくためのリーディングプロジェクトの検討を進めているところであり、第5次総合計画前期基本計画において、改めてお示ししてまいりたいと考えております。

◆**正田富美恵議員** 子育てに重点を置かれるということですが、私は大賛成です。ただ、第4次総合計画が本年度をもって終了いたします。この中で、今までの計画の中で、誰もが子供を自由に遊ばせることができる、例えば児童館ですね。そういうものを閉館しているような、子育て世代からのお声をお聞きいたします。

このような状況をどう捉えていらっしゃるのか、第4次総合計画の検証はどのように把握をされたのか、お聞かせください。

◎**小川勝企画部長** 第4次総合計画後期基本計画における施策の目的、目標の達成度をはかる評価基準として指標を設定しており、このうち数量ではかれない定性的な指標の現況値を把握するため、昨年9月に市民意識調査を実施したほか、定量的な指標の実績の確認を行い、133指標のうち86指標が達成・向上している状況でございます。

この指標の達成状況のほか、各部局において施策ごとの課題、現状分析を踏まえた上で策定作業を進めているところでございます。

◆**正田富美恵議員** 市民意識調査で結果を出したということなんですけれども、議会で何度も指摘をされております。本市は事務事業評価を行っていない中で、今回の総合計画の策定です。今後はきちんと事務事業評価を盛り込むように、強く要望いたします。

次の質問ですが、市長は3月の定例会の冒頭、第5次総合計画策定、基本方針の策定に当たり、持続可能な開発目標SDGsを総合計画の各施策に関連させることで、SDGsの達成に寄与してまいりたいと考えているとおっしゃっていらっしゃいましたが、これについて、我が会派も議会で何度もSDGsについては提案をさせていただいてまいりました。

新たな総合計画の策定の中で、SDGsの取組をどう具体的に反映されたのかお聞かせください。

◎小川勝企画部長 SDGsの取組につきましては、SDGsと本市の施策を関連させるとともに、地方創生の推進につながることを目的として、7月に地方創生SDGs官民連携プラットフォームへ加入いたしました。

今後、関連イベントへの参加などを通じて推進方法の調査・研究を進めるとともに、第5次総合計画の各施策において、SDGsを踏まえた施策の推進が図れるよう検討をまいります。

◆正田富美恵議員 SDGsの取組は行政だけではなく、企業や民間団体との連携の下で進められるものです。そのため、市民の理解をどのように深めていくかも大事になってくると思います。

その具体策として、施策の中でSDGsに当たるものについて、17のどの目標に該当するか、これからの総合計画の中にしっかりとピクトグラムをつけてー絵文字ですね。SDGsのこのバッジの絵文字ですけれども、それをしっかりとつけて市民の人たちに分かりやすく啓発していく、そのような提案をさせていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

◎小川勝企画部長 SDGsの推進のためには、行政内部はもとより市民や団体等の理解と協力が必要不可欠であることから、総合計画への掲載に当たっては視覚的な工夫を含め、より分かりやすい表現に努めてまいりたいと考えております。

◆正田富美恵議員 私たち一人一人にもできることは数多くあります。2030年度の世界を変え、その先の未来に引き継いでいくためには、SDGsを特別なものとしてではなく自分事にして捉え、それぞれの活動、生活の中に浸透させていくことが大切です。総合計画を通して、市民の皆様が関心を持っていただけるようお願いいたします。

それでは、総合計画の質問は以上です。

次の質問に移ります。

今回のコロナ禍の状況下、視覚障害者の方たちから、密になるからと、並んで歩くガイドヘルパーの方たちの利用ができなくなった、また、聴覚障害者の方たちからは、マスクで相手の口の動きが見えずに外に出ることが不安になったと、お声をお聞きいたしました。

そうした新しい生活様式に向けて、外に出ることに不安を感じているお声を聞くと、新しい生活様式の普及を進める上で、弱者の方たちへの支援はとても大切になってくることを感じます。つながりによって支えられてきた社会の基盤そのものを考えるときだと思います。

そこで、次の交通弱者の移動支援、特に高齢者の方について伺います。

感染防止のため人との接触を減らすということで、今まで通っていた介護サービスやサークルなどを控えている高齢者の方たちの八千代市内の現状をお聞かせください。

◎林雅也健康福祉部長 緊急事態宣言が発令された後、介護サービス利用につきましては、通所介護及び地域密着型通所介護の利用者につきまして、4月の利用者が前月比4.5%の減、翌5月には9.4%の減となり、利用を控える動きとなっております。

また、ふれあい大学校も休校の判断をいたしまして、介護予防サロンや老人クラブにおきましても活動を控えていただきました。現在におきましても、感染症の拡大防止に留意をし、御活動いただいている状況でございます。

◆正田富美恵議員 八千代市のシニアクラブのほとんどがまだ活動を控えております。これは高齢者にとって社会活動の意欲や好奇心の衰えが進み、健康的リスクも高くなるのではないかと心配です。

なかなか抜本的打開策は見つからないと思いますが、特に高齢者の独り暮らしの方、日中独りで過ごしている高齢者の方に、ぜひ自治会や民生委員など、社会福祉協議会と連携して、電話でのお声かけや手紙で見守りをお願いしたいと思います。

また、併せて外出を控えて孤立することのないように、新しい生活様式に向けて、やはり交通弱者の方たちの移動支援も変化をしてくると思うのですが、八千代市ではコロナ禍の以前より地域公共交通会議で進めておりますコンパクトカーの導入、この導入検討の状況はどのようになっているでしょうか。

◎鈴木智久都市整備部長 コンパクトカー等の導入の検討につきましては、昨年度に運行ルート案の試走や事業者へのヒアリング、運行経費の試算等を実施いたしました。

その結果を踏まえ、八千代市地域公共交通会議に諮りましたが、ぐるっと号等の過去に廃止した運行経路との重複等の課題が多く、継続的な事業とならないおそれがあることから、まずは市域全体の方向性と地域の特徴を合わせた八千代市版の総合交通計画をつくることが重要であるとの意見が出されました。

このことから、今後につきましては八千代市版の総合交通計画策定に向けて検討を進めてまいりたいと考えております。

◆正田富美恵議員 公共交通については、相当前から議論されております。ぐるっと号からコンパクトカー、本当に年数がたっております。その間、免許を返納する方も多くなり、またお体が悪くなられた方、多くの交通弱者の方たちがこの取組を待っております。いつまでに結論を出すのでしょうか。市民の皆様は大変に期待していると思います。

それでは、国は地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に伴い、今まで任意であった地方公共団体による地域公共交通計画の策定が義務化されました。本市の取組をお聞かせください。

◎鈴木智久都市整備部長 地域公共交通計画につきましては、公共交通ネットワークに関するビジョンを明確にするための計画で、地域にとって望ましい公共交通ネットワークの姿を明らかにし、まちづくりなどの関連分野と連携しつつ、面的なネットワークの形成に係る事業を記載した計画となっております。

市といたしましても、先ほどの御質問でもお答えしましたとおり、持続可能な事業を行うためには、まずは八千代市版の総合交通計画の策定検討に入ることから、八千代市地域公共交通会議委員の協力を得ながら、地域公共交通計画の策定に向け、早急に準備を進めるとともに、予算の確保に努めてまいりたいと考えております。

◆正田富美恵議員 これはしっかりと予算を確保して、地域公共交通計画を策定していただきたいと強く要望いたします。

それでは、また別の角度から、今回のコロナ禍でやはり交通弱者とされているのが妊娠をされている妊婦さんです。この方たち、かなり影響を受けております。

特に、妊娠中は自身の感染不安や、おなかの子供への影響などの不安と闘い、出産時には病院側の新型コロナ対策で付添いもなく、独りで頑張っておられます。出産後も配偶者や家族との面会は制限されていて、直接ねぎらってもらうこともできません。

このような妊産婦さんに、東京都は支援としてタクシー券の配付を実施いたしました。このような妊産婦への健診、退院のときに外出する支援も必要だと思えます。本市での妊産婦への支援、どのように考えておりますでしょうか。お聞かせください。

◎須藤泰子子ども部長 本市の対応といたしましては、母子健康手帳交付時に、出産時等の医療機関への移動手段について確認を行い、タクシー利用が必要な場合には、出産時等の送迎サービスを行っているタクシー会社に関する情報を提供しております。

現時点におきましては、タクシー利用時の補助などは考えておりませんが、タクシー利用のニーズや近隣市の動向を注視してまいりたいと考えております。

◆正田富美恵議員 これから赤ちゃんを産み育てる妊婦への支援は、子育て支援にもつながる重要な取組だと思えますので、よろしく願いいたします。

また、市のホームページを開きますと、このような出産を控えた方たちのパパとママの子育て教室、プレママ教室、全て中止になっております。出産を控えている妊婦は不安を抱えたままで、せめてこれ動画配信で、出産に向けて沐浴の仕方、育児に関する動画、また、オンライン等を使って両親学級を行うなどは必要だと思えます。

本市で動画配信、オンラインによる相談等を支援すべきと強く要望いたしますが、お考えをお聞かせください。

◎須藤泰子子ども部長 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、妊娠期の教室は現在開催を見合わせておりますが、安心して出産を迎えられるよう、保健師等が電話や家庭訪問などの個別支援を行っております。

また、より安心していただけるよう、市ホームページに妊娠期の栄養、歯科保健に関する情報の資料を掲載いたしました。沐浴等の動画配信や育児の情報に関する資料の掲載に関しましても、準備を進めているところでございます。

なお、オンライン相談につきましては、情報セキュリティポリシーの遵守が必須なことから、先進事例の調査・研究を行ってまいりたいと考えております。

◆正田富美恵議員 他の自治体では、オンラインの両親学級などをかなり実施しておりますので、ぜひお願いいたします。

電話で保健師さんに相談しているということですが、電話では分かりづらい顔の様子もオンラインなら見えることもございますので、核家族化が進む中、妊産婦の家庭での孤立感を解消するため、産前・産後をサポートするオンラインでのパパとママの子育て教室等の実施をよろしくお願いいたします。

次の新生児への給付金についてですが、私たち会派公明党はコロナ禍の状況の中で、地方創生臨時交付金の拡充に伴う緊急要望書として提出させていただいた中に、国の定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児、同じ学年に生まれた新生児へ10万円の給付金を支給する、国からの臨時交付金を活用して実施していただく、そのように要望をさせていただきました。

今回、補正予算の中で私たちの提案した要望を反映していただき、感謝しております。ありがとうございます。対象は1,400人を見込んでいるようですが、八千代市で子育てをする方たちへの力強い応援になることを祈ります。

それでは、次の若者支援について伺います。

今後、自治体がどう生産人口を増やしていくのか。若者に対する支援の意義は大きいと思います。そこで、今回の新型コロナウイルスで影響を受けた方たち、入籍というおめでたい人生の晴れの日となる結婚式や披露宴をやむなく延期・キャンセルしたカップルがいます。その方たちを支援・応援する取組について、私たちは要望をさせていただきましたが、その後、この若者に対する支援についてどう検討されたのかお聞かせください。

◎**豊田和男総務部長** 御質問の新規に婚姻した市内在住の若い新婚世代を対象に、経済的な支援としての応援給付につきまして、現状では実施いたしておりませんが、新型コロナウイルス感染症の影響から、やむを得ず結婚式を取りやめたことによりキャンセル料が発生した場合などを対象に、その一部を負担するといった支援等を検討してまいりたいと考えております。

◆**正田富美恵議員** ぜひ前向きに考えていただきたいとお願いいたします。

次に、相談窓口の拡充について、3月の定例会でも我が会派より提案をさせていただきましたお悔やみ窓口についてお伺いいたします。

国は、死亡・相続に向けてワンストップサービスの窓口を設置する自治体が多いということで、各自治体向けにおくやみコーナー設置自治体支援ナビ、死亡・相続ワンストップサービスのシステムを提供しております。

そのシステムをぜひとも利用して、早急に市民の相談窓口の拡充として、まずはお悔やみ窓口の設置・整備を要望いたしますが、お考えをお聞かせください。

◎**豊田和男総務部長** お悔やみコーナーの相談窓口につきましては、新庁舎整備の際に総合窓口の整備の一環として取り組んでまいりたいと考えております。

住民の死亡に伴う御遺族の現状につきましては、全庁的に必要となる手続を案内した「死亡届を出された方へのご案内」という書面をお渡しすることとしております。

今後につきましても、市ホームページに「死亡届を出された方へのご案内」を掲載しお知らせすることや、御遺族に必要な手続をまとめたパンフレットを作成し配布するなど、他団体の事例も参考にしながら御遺族の負担を軽減できるような方策について検討してまいります。

◆**正田富美恵議員** 葬儀を終えた遺族の方が一番困ったのは、死亡した後の届出が煩雑であるということです。今、案内があるということなんですけれども、せっかくホームページに「おくやみ」という箇所が八千代市はございます。それを開くと、死亡届、市営霊園の案内はあるんですけども、そこにぜひ本当に手続を全般にまとめたガイドブック、そして、またスムーズにそれをダウンロードして持ってくれば全部自分の行く先が分かる、そのようなホームページからダウンロードできるような丁寧な市民サービスに努めていただきたいと提案をいたします。ぜひよろしくお伺いいたします。

次の中小企業支援について伺います。

市内で大きな影響を受けている企業、事業主に対して、八千代市では独自施策を実施しましたが、その現状をお聞かせください。

◎**石川一俊経済環境部長** 八千代市中小企業者等経営支援金支給事業の実施状況といたしましては、5月28日から申請受付を開始し、8月末現在で約2,200事業者からの申請を受け付けております。

また、八千代商工会議所と連携し、臨時無料相談窓口におきまして中小企業診断士並びに社会保険労務士が行う経営相談のほか、国・県・市の各種申請書類の作成手続などのサポートを実施しております。実績といたしましては、8月末現在で231件となっております。

◆**正田富美恵議員** 約2,200件の申請ということですが、今後も感染拡大の影響で仕事を失う人や収入が大幅に減る人が増えるなど、経済的な影響は顕著になってくると思います。どうか今後も引き続き、切れ目のない支援の実施について御検討いただけますように要望いたします。

また別の角度から、今回補正予算で計上しております、市内店舗にて対象のキャッシュレス決済サービスを利用した場合、ポイントの付与をするという事業ですが、これはQRコードを使い、ポイント還元は多くの方々にとって喜ばしいことです。

しかし、まだまだキャッシュレス、QRコード等を使えない方もいらっしゃいます。その方にしっかりと使い方を周知できるように、QRコードの使い方から丁寧に、利便性のいい、また生活者の目線でポイント還元事業が多くの方に利用していただけますように、重ねて要望をいたします。お願いいたします。

その他、事業所の感染防止対策の取組ですが、各事業所が感染対策に取り組む中、お客様が安心してそのお店に足を運んでもらえるように可視化することで、感染症対策の実施項目のチェックシート、そしてポスターを掲示する取組が始まっております。

私の実家がある木更津市では、市のマスコットキャラクターが新型コロナの対策推進宣言のポスターを配布して、地域経済の回復への取組をされております。

本市でも、イメージキャラクターのかわいいやっちがおります。やっちを活用し、チェックシートと併せて、ポスターを作成することを提案させていただきますが、いかがでしょうか。

◎**石川一俊経済環境部長** 議員御指摘の、飲食店など新型コロナウイルス感染症対策を実施している店舗にステッカー等を掲示する取組につきまして、近隣自治体等の動向を踏まえ、本市におきましても八千代商工会議所とも連携の上、検討してまいりたいと考えております。

◆**正田富美恵議員** 商工会議所と協力をして、ぜひ作っていただきたいと思います。

次に、教育について伺います。

4月に緊急事態宣言が発令され一斉休校となり、各家庭で子供たちが学習をすることとなりました。その際の臨時休校中のオンライン等の学習支援、本市での取組についてお聞かせください。

◎**小林伸夫教育長** 教育委員会では、小・中学校が臨時休業中でも家庭で児童・生徒が自ら計画的に学習することができるように、教育委員会ホームページに家庭学習支援サイト「やっち」学びの部屋を立ち上げ、児童・生徒用のスケジュール表や、教科書に沿ったワークシート、音声や動画での教材等を公開いたしました。

また、株式会社ベネッセコーポレーションからの無償提供を受け、家庭でも個別学習等が行えるオンライン学習ソフトが利用できる環境を整えました。9月以降の継続した運用を行うなど、引き続きオンラインでの学習環境整備を推進してまいります。

◆**正田富美恵議員** 個別学習、これから必要になってくると思います。特に、オンラインに関しましては、各家庭での環境整備の格差がとても心配です。今後は、その課題も含めて、1人1台のパソコンの整備をするGIGAスクール構想の対応が急務だと思います。

先ほども午前中の答弁でありましたけれども、今回文部科学省ではこの感染症の発生や災害時による学校の臨時休業等緊急時において、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、2023年度までの達成を目指していた1人1台端末の実現、家庭でもつながる通信環境の整備、このGIGAスクール構想の前倒しをする計画を打ち出しました。

このGIGAスクール構想では、特に障害者や不登校児、外国籍児など、特別な支援が必要な子供のサポートにも大変有効です。ただ、ICTに不慣れな教員へのフォローやセキュリティーの確保など、課題もあります。

専門員のGIGAスクールサポーターの配置も今後は考えていかなければならないと思いますが、本市でのこのGIGAスクール構想の実現に向けての取組をお聞かせください。

◎小林伸夫教育長 それでは、GIGAスクール構想への対応と、先ほどありましたGIGAスクールサポーター、この配置について進捗状況をお答えいたします。

GIGAスクール構想への対応につきましては、国の前倒しの方針に基づき、本市も児童・生徒1人1台端末整備等の早期実現を目指しており、補助金や交付金の活用を含め、関係部局と協議の上、本議会に予算案を提出中でございます。

また、GIGAスクールサポーターの配置も、円滑な機器の導入や効果的な活用支援のために必要であると考えており、配置のための経費も端末整備と併せて予算案に組み入れております。

今後もGIGAスクール構想の対応につきましては、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の早期実現に向け取り組んでまいります。

◆正田富美恵議員 ありがとうございます。一人も取り残さない教育の実現にICTの果たす役割は大きいと思いますので、ぜひスムーズによろしく願いいたします。

次に、スポーツ振興について伺います。

スポーツ振興については、1つだけ質問をさせていただきます。

今回、コロナ禍だけではなく異常な暑さ、熱中症予防運動指針等、今後スポーツを取り巻く社会情勢が変化をする中、スポーツの在り方も変化してきております。

今、本市はスポーツ推進計画の策定を進めておりますが、新しい生活様式におけるスポーツ計画事業を含め、内容の見直しの検討はどのようにしているのか、現在の取組状況について教えてください。

◎大澤利和教育次長 現行の八千代市スポーツ推進計画が今年度をもって終期を迎えることから、現在、次期八千代市スポーツ推進計画の策定を行っております。

策定に当たりましては、本年2月に18歳以上の市民3,500名に対して実施したスポーツに関する市民アンケートの結果等も参考とし、当計画の基本理念である「市民の誰もが健康で活力に満ちたスポーツのまちづくり」を引き続き目指すとともに、スポーツ活動の推進、スポーツ環境の整備、スポーツ施設の充実を柱に位置づけ、多様化する市民ニーズや施設の老朽化に対応した計画の策定を進めていきたいと考えております。

なお、今後のスケジュールといたしましては、関係各課との協議やパブリックコメントの実施、八千代市スポーツ推進審議会への諮問・答申等を経まして、今年度中に策定してまいりたいと考えております。



◆**正田富美恵議員** 本年2月の市民アンケートを参考にということなんですけれども、2月だと新しい生活様式、また、これだけの熱中症のこと、なかなか入っていないのではないかと思います。

スポーツに対する考え方が大きく変わってくると思いますので、ぜひそのことも取り入れて、新しい次期スポーツ推進計画の策定をお願いしたいと思います。

また、スポーツに取り組む中で、公共施設など人が集まる空間での密を予防するという一方で、今様々なところでオンライン情報やアプリなどを活用した予約システムの確立、情報発信などを行っておりますが、今後このようにオンラインでの予約ができるデジタル化の導入に向けてのお考えはありますでしょうか。お聞かせください。

◎**大澤利和教育次長** 現在、新型コロナウイルス感染症の影響によって新しい生活様式が推奨されており、スポーツにおきましてもオンライン動画を利用して自宅でのトレーニングやヨガ等を行うなど、インターネットを利用したスポーツ講座等に対するニーズが高まっていると認識しております。

また、施設利用者向けのアプリにつきましても、個人利用の予約を自宅で行えるなど、市民の利便性の向上を図ることができる取組であることから、今後、調査・検討を進めてまいりたいと考えております。

◆**正田富美恵議員** 積極的な検討をお願いいたします。ぜひデジタル化していただきたいと思えます。

次に、小・中学校への携帯電話の持込みについてお伺いいたします。

スマートフォンなどの携帯電話について、文部科学省はこれまで小・中学校への持込みを原則禁止してまいりました。しかし、登下校中の安全確保のため、持込みを認めてほしいという保護者らの声を受けて、一定の条件を満たした場合に限り中学校について認めることになりました。それに伴い、子供たちが持参する携帯電話の取扱いに関するルール、これも必要だと思えます。

ガイドラインを教育委員会で策定をして、そして携帯電話の持込みを了解する方向で検討いただきたいと思いますが、御見解をお聞かせください。

◎**小林伸夫教育長** 文部科学省から令和2年7月31日付で「学校における携帯電話の取扱い等について(通知)」がありました。現在、本通知に沿って市校長会と連携しながら携帯電話の取扱い等について検討しているところでございます。

なお、ガイドライン作成等につきましては、国・県・近隣他市の動向の調査や連携を図りながら、さらに研究してまいりたいと考えております。

◆**正田富美恵議員** 情報化社会がますます進展する中で、携帯電話は子供たちの生活において急速に普及しております。インターネット依存やインターネットを介したいじめ、トラブル、盗撮、犯罪被害者も増加しております。

今後は、携帯電話の使用に関する危険性やルールを、子供たちや保護者に指導・啓発する必要性も高くなっております。ぜひ教育委員会でガイドラインを作成していただき、子供たちが安全に携帯電話を使用できるように要望いたします。

それでは、最後に我が会派がずっと推進をしてまいりました小中一貫校、八千代市で初めての義務教育学校への取組についてお伺いしようと思いましたが、午前中、代表質問で大枠は分かり

ました。令和4年開校に向けて、ようやく設立準備委員会も設置をされました。学校名や通学路の安全対策、教育環境整備等、設立準備委員会で十分話し合っていたいただきたいと思います。

私からは、統合された後の3校を住民の交流ができる場所として、地域の皆様の声を伺い、説明し進めていただきたいと思います。ぜひ地域にすばらしい学校ができたと、地域の方々が胸を張って誇れますようお願い、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。